



散布・空散・無人航空機
散布方法を選べる!!



様々な作物を守って キレイに仕上がる!!

殺菌剤

トッポジンM[®] ゴル

チオファネートメチル水和剤

■有効成分:チオファネートメチル…40.0%
■人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)
■包装:500ml×20本、5Lポリ缶×4本

殺菌剤分類

1

特長

- 広範囲の作物・病害の予防と治療に優れた効果を発揮します。
- 液体タイプの剤型なので、粉立ちがなく作物が汚れにくい。
- ヘリコプターや無人航空機散布の登録を有し、散布作業の省力化がはかれます。

稲・麦・果樹・野菜・花の
病害防除に!!

トップジンMゾル

適用病害と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びチオファネートメチルを含む農薬の総使用回数（制限）を示す。

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期	総使用回数※		使用方法
					本剤	チオファネートメチル	
稲	いもち病	1,000	60~150	14日	3回	3回 種子への処理は1回	散布
		原液	0.2				空中散布
	4	0.8	無人航空機による散布				
	変色米 (エピコッカム菌)						4~8
墨黒穂病 紋枯病	8	60~150	散布				
墨黒穂病 紋枯病 稲こじ病	1,000						
小麦	雪腐大粒菌核病			10	根雪前	3回 出穂期以降は2回	4回 種子への処理は1回 散布及び無人航空機 散布は合計3回 出穂期以降は2回
小麦	赤かび病	1,000~1,500	60~150	14日	3回 出穂期以降は2回	3回 種子への処理は1回 出穂期以降は1回	散布
		1,500					無人航空機による散布
麦類 (小麦を除く)	雪腐大粒菌核病	10	0.8	根雪前	3回 出穂期以降は1回	3回 種子への処理は1回 出穂期以降は1回	無人航空機による散布
やまのいも	葉渋病、炭疽病	5	0.8	3	7日	5回	5回
だいず	紫斑病	20~30	3	0.8	14日	4回 種子への処理は1回	4回 種子への処理は1回
なす	菌核病	1,000	100~300	前日	5回	6回 種子への処理は1回 は種後は5回	散布
きゅうり	菌核病、炭疽病						
トマト	葉かび病、菌核病						
たまねぎ	灰色腐敗病	600~1,000	0.8	前日	3回	7回 種子への処理は1回 苗根部浸漬は1回 無人航空機散布は3回 散布は5回	無人航空機による散布
		5					2.4
れんこん	褐斑病	20	3	75日	3回	3回	空中散布
みかん	そうか病	700~1,000	200~700	4~6月	5回	8回 塗布は3回、散布、 空中散布及び無人航空機 散布は合計5回	散布
		1,000~2,000	700				無人航空機による散布
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害 青かび病 緑かび病 輪腐病	20~30	5	前日	5回	8回 塗布は3回、 散布及び無人航空機 散布は合計5回	無人航空機による散布
		30	10				
キウイフルーツ	果実軟腐病	2,000	1,000	前日	5回	8回 塗布は3回 散布は5回	無人航空機による散布
		1,000					5
もも	灰星病	700	200~700	6回	6回	10回 塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は6回	散布
		1,500					3回
おうとう	せん孔病	1,500	14日	3回	3回	3回	散布
ぶどう	黒とう病	1,000	100~700	45日	1回	5回 塗布は3回 休眠期の散布は1回 生育期の散布は1回	散布
							5回
りんどう	花腐菌核病	1,000	100~700	発病初期	5回	5回	散布
ストック	菌核病						
ばら	黒星病						
プリムラ	灰色かび病	100~300	100~300	発病初期	5回	5回	散布
シンビジウム	炭疽病	1,000	100~300	発病初期	5回	5回	散布
ゆり	葉枯病						
きく	黒斑病、褐斑病						散布

効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 使用に際しては容器をよく振ってから所定量を取り出し、水に入れてよく攪拌して散布液を調製してください。
- 長時間放置すると沈殿を生じることがありますが、振れば容易に元の状態に戻るため、必ず元の状態に戻してから使用してください。
- ポルドー液との混用はさけてください。
- 蚕に対して影響があるため、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果の劣るおそれがあるため、過度の連用を避け、なるべく作用性の異なる他の薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- 大型散布機（ヘリコプターなど）で使用する場合は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ってください。
 - (1) 微量散布(0.2ℓ/10a)及び少量散布(0.8ℓ/10a)の場合は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - (2) 無人航空機による散布にあつては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - (3) 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - (4) 微量散布の場合、他の農薬との混合は行わないでください。また少量散布の場合は特定の農薬混合可能が確認されているものを除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
 - (5) 散布薬液の飛散によって自動車の塗装等に被害を生じるおそれがあるため、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - (6) 作業後は次の項目を守ってください。
 - ・ 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。
 - ・ 使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者をきめて保管してください。
 - ・ 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の脱落や果実の汚れを生じるおそれがあるため注意してください。
- だいずの紫斑病に対しては、落花後～若英期に2～3回散布してください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 散布の際は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗顔・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは、他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 保管：密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼な所に保管してください。

● 使用前にラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は、2020年12月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
☎(03) 3245-6178 FAX(03) 3245-6084
https://www.nippon-soda.co.jp/nougyo/

斑点米カメムシ防除のトップランナー

農林水産省登録 第21260号

殺虫剤分類 4A

浸透移行性殺虫剤

スタークルメイト[®] 液剤10

スタークルメイトは三井化学アグリ株式会社の登録商標です

吸汁障害効果でカメムシ類に口封じ!

トゲシラホシカメムシ

アオクサカメムシ

ミナモアカメムシ

クモアリカメムシ

アカヒゲホリメトリカスミカメ

アカスジカスミカメ

ウンカ類などにも高い効果!

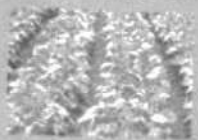
トビイロウンカ

セジロウンカ

ヒメトビウンカ

ツマグロヒョウバ

だいず・えだまめにも!



農林水産省「稲免耕・稲作・稲作技術マニュアル」に掲載された農薬です

カメムシ斑点米防除はおまかせ!



液剤10

有効成分:ジノテフラン...10.0% 人畜毒性:普通物*

*「産物及び創物取扱い」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、創物の指定を受けない物質を示す。

■特長

- 1.カメムシ類・ウンカ類・ツマグロヨコバイに効果を発揮!
特にカメムシ類には殺虫効果・吸汁阻害効果で、斑点米被害を効率的に防ぎます。
- 2.空中散布・無人航空機散布に加えて、乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置(ブームスプレーヤなど)での散布にも使える液剤です。
- 3.だいず・えだまめの害虫防除にも使えます!

■適用害虫および使用方法

2020年11月25日現在の登録内容

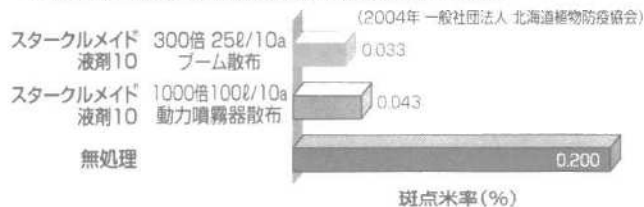
作物名・適用場所	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ツマグロヨコバイ	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、 本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
	カメムシ類 ウンカ類	300倍	25ℓ/10a			無人航空機による散布	
		8倍	0.8ℓ/10a			空中散布	
	ウンカ類	30倍	3ℓ/10a			無人航空機による散布	
だいず	ツマグロヨコバイ ウンカ類	16倍	1.6ℓ/10a	2回以内	3回以内	散布	(は種時の土壌混和は1回以内、 散布は2回以内)
	フトスジヒメハムシ	1000倍	100~300ℓ/10a			無人航空機による散布	
えだまめ	カメムシ類 タイズサヤタマバエ	8倍	0.8ℓ/10a	2回以内	3回以内	空中散布	2回以内
	フトスジヒメハムシ	1000倍	100~300ℓ/10a			無人航空機による散布	
らっきょう	アザミウマ類 ハモグリバエ類	8倍	1.6ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布	3回以内
さとうきび	カンシャコバネナガカメムシ イナゴ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫45日前まで	3回以内	散布	5回以内 (粒剤は2回以内、液剤、水溶剤及び 水和剤は合計3回以内)
		14倍	2.4ℓ/10a			無人航空機による散布	
いね科牧草	アブラムシ類	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
水田作物 畑作物(休耕田)*	カメムシ類		60~150ℓ/10a	—	—	—	—

*ヨシ、オギ、ススキ、セイタカアワダチソウ等の多年生雑草が優占している休耕田

■試験成績

●水稲・カメムシ類への防除効果(地上液剤少量散布)

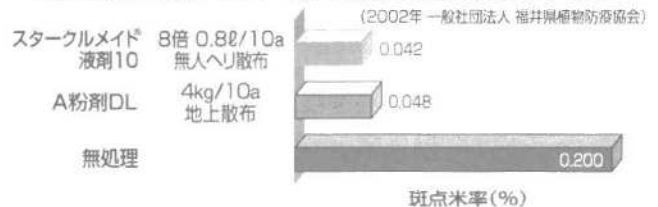
*平成16年度「新農業実用化試験成績」(日本植物防疫協会)より一部転記



●供試昆虫:アカヒゲホソドリカスミカメ ●発生状況:少発生 ●品種:ななつぼし
●処理:8月2日、9日に、少量散布ブームスプレーヤ用ノズルを動力式散布機に設置し、25ℓ/10a散布した。対照剤は100ℓ/10aを動力噴霧機で散布した。
●調査:9月13日に各区40株を刈り取って乾燥し、精玄米で区当り5000粒以上の斑点米調査を行った。

●水稲・カメムシ類への防除効果(無人ヘリ散布)

*平成14年度「産業用無人ヘリコプター受託試験成績書」(農林水産航空協会)より一部転記



●供試昆虫:カメムシ類(ホソハリカメムシ、トゲシラホシカメムシ、アカヒゲホソドリカスミカメ、コバネヒョウタンナガカメムシ混発) ●発生状況:少発生 ●品種:ハナエチゼン
●処理:8月6日に、ヤマハR-MAXを用いて所定量を散布した。対照剤は所定量を地上散布した。
●調査:収穫期に各区3ヶ所で10株刈り取後、玄米中の被害粒数を調査した。

⚠効果・薬害等の注意

- 使用量にあわせ薬液を調整し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。
 - ①散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②少量散布の際は、微量散布装置以外の散布器具は使用しないでください。
 - ③無人航空機による散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ④散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ⑤散布薬液の飛散によって動物及び自動車やカートなどの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
 - ⑥作業終了後は次の事項を守ってください。

- (a)使用後の空容器は放置せず、適切に処理してください。
- (b)機体散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

- 本剤を希釈倍数300倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の養蚕にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ①ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ②関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蚕が行われているかを確認し、養蚕が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らな

いように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

⚠安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。
 - 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 空中散布または無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管:直射日光を避け、食品と区別して、冷凍・乾燥した所に密栓して保管してください。

万一、誤食・誤飲した場合には、速やかに医師の手当を受けてください。皮膚などにかけた場合には、十分な水で洗い流してください。さらに、異常を感じた場合は、医師の手当を受けてください。

使用前にはラベルをよく読んでください。ラベルの記載以外には使用しないでください。本剤は小児の手の届く所には置かないでください。空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。防除日誌を記録しましょう。

*本製品は農薬用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

*本印刷物は2020年11月25日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

SMI-11-011



三井化学アグロ株式会社

東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mitsui-agro.com/>